

2026 KBIC・セルトリオン グローバルスケールアッププログラム 日韓 Anti-Aging Open Innovation Forum 2026

アンチエイジングの最新動向と KBIC・セルトリオンによる
日本の創薬全般スタートアップ向け支援プログラムのご紹介

2026

9 | 8 火

14:00 ~ 18:00

(13:45 開場 / 17:10 ネットワーキング)

- 日本橋ライフサイエンスビルディング
- オンライン

ライフサイエンス分野において、日本は、世界最高レベルの基礎研究力と研究成果を有しています。一方、韓国は、研究技術を事業として実現する商業化力を通じ、数々の成功事例を作ってきました。両国の専門家が有する豊かな経験に基づき、アンチエイジングを始めとするライフサイエンス分野の最新の研究動向及び成果、グローバル製薬・バイオ業界の投資のトレンド、オープンイノベーションに関するノウハウ（戦略、成功事例、プログラム）を共有する予定です。さらには、日本の創薬全般スタートアップ向けにセルトリオンが技術・事業の高度化、R&D、共同研究の支援を行う「2026 KBIC・セルトリオングローバルスケールアッププログラム」についてもご紹介する予定です。主な対象領域は、がん・自己免疫・代謝疾患領域、オルガノイド、アンチエイジングです。本プログラムには、FBRI の分野別専門家によるコンサルティング含む個別アクセラレーションの特典も含まれます。イベント終了後はネットワーキングセッションを設けており、本プログラムに関する個別相談も実施する予定です。



Development of iPS cell-based immune cells for clinical applications

京都大学 iPS 細胞研究所教授 / 筑波大学医学医療系 教授 金子 新 氏



糖尿病治療薬の転用：細胞老化における新たな治療の可能性

ソウル大学病院 内分泌代謝内科 教授 チョ・ヨンミン 氏



Building blockbuster biotech companies leveraging Japanese science

AN Venture Partners パートナー 二見 崇史 氏



オープンイノベーションをつなぐバイオクラスターの役割 ～抗老化領域での事例や KBIC での活動を中心に～

(公財) 神戸医療産業都市推進機構 クラスター推進センター グループリーダー
小池 晴彦 氏



セルトリオンのオープンイノベーション戦略及びグローバル・オープンイノベーション・ プログラムについてー2026 KBIC・セルトリオン グローバル・スケールアップ・プログラム

(株) セルトリオン 研究開発部門オープンイノベーション総括取締役 チャン・ソヨン 氏



バイオテック・スタートアップにおけるパートナーシップの重要性について ー セルトリオン・ピノバイオの協力事例

(株) ピノバイオ 代表取締役 チョン・ドウヨン氏



参加無料

※事前登録者 30 名様限定で、セルトリオンスキンケア化粧品（アンチエイジング）を進呈いたします。（現地来場者のみ対象）

プログラム

時間	内容
14:00 ~ 14:20	開会挨拶・祝辞
14:20 ~ 15:20	R&D セッション
15:20 ~ 15:50	投資セッション
16:00 ~ 17:00	オープンイノベーションセッション
17:00 ~ 17:10	閉会挨拶
17:10 ~ 18:00	ネットワーキング・個別相談

会場へのアクセス

日本橋ライフサイエンスビルディング 2 階

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 2-3-11
東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅 A6 出口より
徒歩 3 分
JR 総武快速線「新日本橋」駅 5 番出口より徒歩 2 分



参加申し込み

下記サイトより事前登録をお願いいたします。
(参加無料 / お菓子・お飲み物のご提供あり)

<https://www.link-j.org/event/article-53327.html>



※事前登録者 30 名様限定で、セルトリオンスキンケア化粧品(アンチエイジング)を進呈いたします。(現地来場者のみ対象)

お問合せ

一般社団法人 LINK-J

TEL:03-3241-4911 (平日 9:00-17:30)

E-mail:contact@link-j.org web:www.link-j.org

プロフィール

金子 新 氏

1995 年筑波大学医学専門学群卒業、2002 年同大学院医学研究科修了・博士(医学)取得。日本学術振興会特別研究員を経て、2003 年より筑波大学血液病態制御医学講師。2005 年よりサンラファエ研究所(ミラノ)研究員。2008 年より東京大学医科学研究所助教。2012 年より京都大学 iPS 細胞研究所准教授、2020 年より現職。

チョ・ヨンミン 氏

ソウル大学医学部卒業、同大学院にて内科学の修士・博士号を取得(1990 ~ 2004 年)。カナダ・ブリティッシュコロンビア大学(UBC)客員教授(2009 ~ 2010 年)を経て、2019 年よりソウル大学医学部内科学教授を務めている。同大学医学部ビジョン推進団長・対外協力室長、ソウル大学病院対外協力室長、大韓糖尿病学会総務理事、大韓内分泌学会学術理事などを歴任し、2023 年よりソウル大学病院病院管理室長および企画調整室長を兼任。

二見 崇史 氏

AN Ventures Partners パートナー。アステラス製薬での研究開発/CVC/Open Innovation/経営企画の経験、および、独立系 VC での会社設立、海外投資の経験を元に、主に研究機関での研究成果をベースとしたスタートアップの組成を主導。東北大学特任教授、名古屋大学 / 千葉大学 / 岡山大学 / 熊本大学客員教授、国立循環器病センター客員部長、国立がんセンターアドバイザー、内閣府グローバル・スタートアップ・キャンパス構想有識者会議メンバー、総合科学技術・イノベーション会議専門委員、国交省や特許庁の外部アドバイザー等

小池 晴彦 氏

徳島大学大学院薬学研究科博士後期課程修了(薬学博士)、1991 年 住友製薬株式会社(現住友ファーマ株式会社)に入社。総合研究所にて薬理研究に従事、その後本社部門、臨床開発部門にて、循環器・糖尿病やがん領域の開発戦略や臨床試験の企画・立案、国際共同治験の計画・遂行等に携わる。2023 年から神戸医療産業都市推進機構にて創薬バイオ領域における産官学連携やスタートアップの育成支援、国際展開支援等に従事している

チャン・ソヨン 氏

梨花女子大学大学院で脳神経科学の博士号を取得(2007 年)。鍾根堂・孝宗(ヒョジョン) 研究所研究員(2009 ~ 2016 年)、セルトリオン製品開発部門製品企画チーム長(2016 ~ 2020 年)、同社研究開発本部デジタルヘルスケアチーム長(2020 年)を経て、2020 年よりセルトリオン研究開発部門オープンイノベーション総括理事に就任。オープンイノベーション戦略の策定をはじめ、国内外の有望技術・スタートアップの発掘、産官学連携ネットワークの構築などを指揮している。

チョン・ドウヨン 氏

KAIST で化学を専攻し、学士号と博士号を取得した。その後、特許庁で特許審査官として在職した後、韓国化学研究院で事業開発業務を担当した。2017 年には、医薬化学、特許、事業開発の経験をもとにピノバイオを創業、その後、抗体薬物複合体(ADC) ベイロードの PBX-7016 をはじめとする多様な ADC 技術を開発した。PBX-7016 は、セルトリオンの臨床段階の ADC 候補物質として採用されている。現在、ピノバイオは、新規リンカー及びベイロード技術に基づく次世代 ADC 候補物質の開発に取り組んでいる。ピノバイオは、2022 年からセルトリオンとパートナーシップを構築しており、これに基づき次世代 ADC 技術をリードする企業に成長した。

